

申込フローの概要：証券自己・MMによる投資家機能の利用

- 証券会社自己/マーケットメイカー（高速取引行為者）が投資家として取引するためには、PT-71/72による登録が必要です。
- まず「(1) ユーザー登録」でIDの取得・利用証券会社の登録を行ってください(*1)。その後、「(2) 本番利用申込み」を行うと、実際に取引できるようになります(*2)

(1) ユーザー登録

投資家機能を利用する証券自己/MMについて、ユーザー情報・利用証券会社をデモ環境へ登録します

1. 証券会社自己の場合

- 「PT-71_(MM向け)投資家機能 ユーザー登録申込書」に必要事項をご記入いただきご提出ください
- 証券会社（自己）としてのIDを未登録の場合は、事前または同時に行う必要があります。以下のいずれかを併せてご提出ください。(*3)
 - 「BT-51G_GUIテストユーザー登録申込書」
 - 「BT-51F_FIX接続登録申込書」

2. その他マーケットメイカー（高速取引行為者）

- 「PT-71_(MM向け)投資家機能 ユーザー登録申込書」に必要事項をご記入いただきご提出ください
- 記入・提出にあたっては、ご利用の証券会社へ事前に確認を行ってください。

(2) 本番利用申込み

「(1) ユーザー登録」でデモ環境へ登録した情報を、本番環境に反映します

- 申込書「PT-72_(MM向け)投資家機能 本番利用申込書」をご提出ください
- 申込者以外のMMに、①申込者が新たに投資家機能を使うこと②RFQ送信時の表示名、を周知します

利用開始

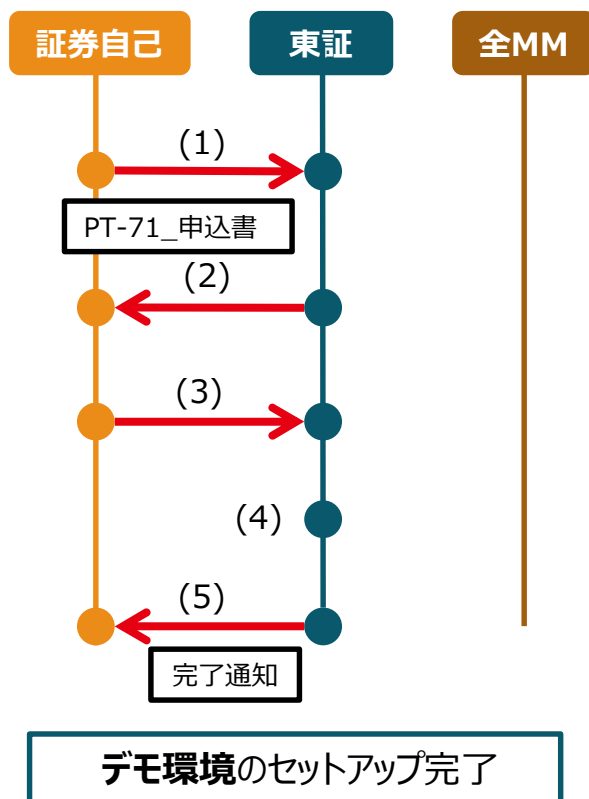
*1 ご利用の証券会社によっては、投資家機能の利用ができない場合があります

*2 既にマーケットメイカー機能などでCONNEQTORの動作確認が済んでいれば、「1.ユーザー登録」と「2.本番利用申込み」を同時に行うことも可能です

*3 利用証券会社に他証券を選択し、他社経由の委託注文としてToSTNeTへの発注を行うセットアップも可能です

1. 証券会社自己 (1)ユーザー登録

- 東証へ「PT-71_(MM向け)投資家機能 ユーザー登録申込書」をご提出ください
- 本申込みには、証券会社機能のIDが必要となります。未登録の場合は、事前または同時にお申込みください



(1) 申込書の提出 (*1)	【証券自己→東証】証券自己は東証に「PT-71_(MM向け)投資家機能 ユーザー登録申込書」を提出
(2) 設定値の確認依頼 (*2)	【東証→証券自己】東証から証券自己へ設定値の確認を依頼
(3) 確認 (準備) 完了の連絡	【証券自己→東証】証券自己は設定値を確認し、必要に応じて準備を完了させ、東証に連絡
(4) CONNEQTORへの登録	【東証】東証がCONNECTORに登録する
(5) 登録完了の連絡	【東証→証券自己】東証は、証券自己へ「完了通知」を送信する

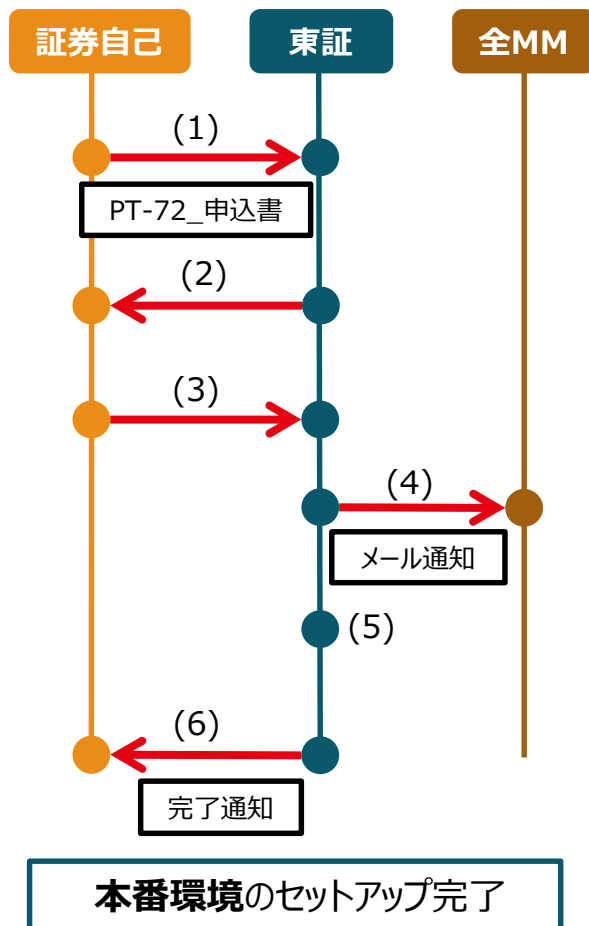
*1 証券会社自己として証券会社機能のIDを取得済み、または同時に取得する必要があります。
同時にお申込みいただく場合は、接続方式に応じて以下のドキュメントでお申込みください。

FIX接続の場合：BT-51F_FIX接続登録申込書 GUI利用の場合：BT-51G_GUIテストユーザー登録申込書

*2 利用証券会社に他証券を選択し、他社経由の委託注文としてToSTNeTへの発注を行うセットアップを行う場合は、接続先証券会社への確認を行います。
その場合、「2. マーケットメイカー」と同様のフローとなります。

1. 証券会社自己 (2)本番利用申込み

- デモ環境でテスト・動作確認を行い、東証へ「PT-72_本番利用申込書」をご提出ください
- 他MMへの周知・CONNECTORへの登録が完了すると、本番環境で実際の取引ができるようになります

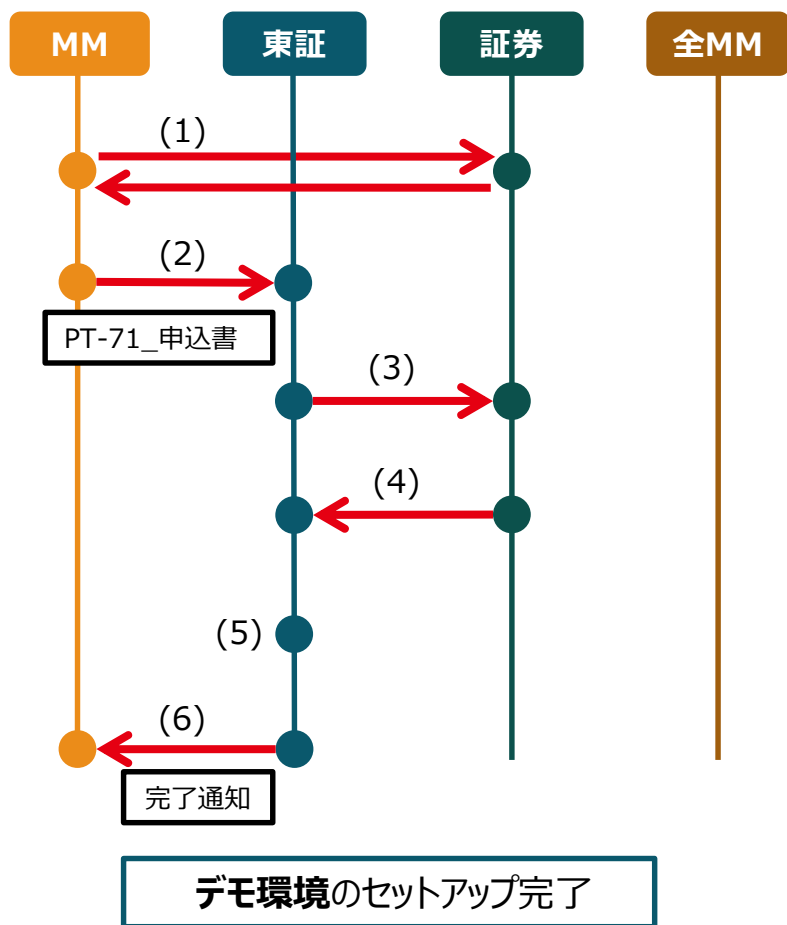


(1) 申込書の提出(*1)	【証券自己→東証】証券自己は東証に「PT-72_(MM向け)投資家機能 本番利用申込書」を提出
(2) 設定値の確認依頼	【東証→証券自己】東証から証券自己へ設定値を確認
(3) 確認(準備)完了の連絡	【証券自己→東証】証券自己は設定値を確認し、必要に応じて準備を完了させ、東証に連絡
(4) 全MMへの周知	【東証→全MM】東証は、本番登録済みの全MMへ、新たに投資家機能を利用する組織の名称を周知する(*2)
(5) CONNEQTORへの登録	【東証】東証がCONNEQTORへ登録する
(6) 登録完了の連絡	【東証→証券自己】東証は証券自己に「TP-72_登録完了通知」を送信する

- *1 証券会社自己として証券会社機能の本番利用の登録済み、または同時に申込みを行う必要があります
同時にお申込みいただく場合は、接続方式に応じて右記のドキュメントでお申込みください： BT-52_本番利用申込書
- *2 登録済みの全MMにおける準備・対応期間として5営業日を確保するため、本番登録が完了するのはそれ以降になります。

2. マーケットメイカー (1)ユーザー登録

- ご利用の証券会社へ担当者や利用口座等を確認した上で、東証へ「PT-71_(MM向け)投資家機能 ユーザー登録申込書」をご提出ください(*1)

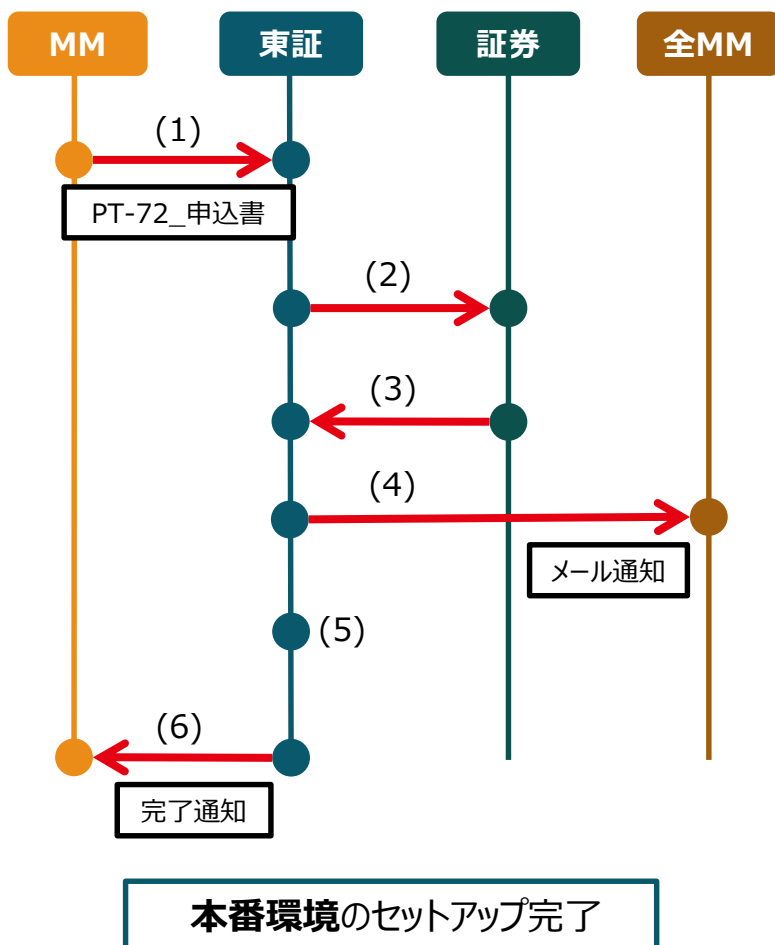


(1) 証券会社への確認 (*1)	【MM→証券】 MMは証券会社に、CONNEQTOR利用意向を伝え、証券会社担当者・利用口座等を確認する
(2) 申込書提出	【MM→東証】 MMは東証に「PT-71_(MM向け)投資家機能 ユーザー登録申込書」を提出
(3) 証券会社へ確認依頼	【東証→証券】 東証から証券会社へ申込内容を連携し、内容確認を依頼 (*1)
(4) 確認 (準備) 完了の連絡	【証券→東証】 証券会社は注文を受託する準備を行い、東証に完了連絡をする
(5) CONNEQTORへの登録	【東証】 東証がCONNEQTORに登録する
(6) 登録完了の連絡	【東証→MM】 東証は、MMへ「TP-71_登録完了通知」を送信する

*1 口座の登録は任意です。複数登録しておくこと、RFQの送信都度、口座を指定して取引することができます

2. マーケットメイカー (2)本番利用申込み

- デモ環境で動作等の確認を行った後、東証へ「PT-72_本番利用申込書」をご提出ください
- 全MMへの周知・CONNEQTORへの登録が完了すると、本番環境で実際の取引ができるようになります







(1) 本番利用の申込書提出	【MM→東証】 MMは東証に「PT-72_(MM向け)投資家機能 本番利用申込書」を提出
(2) 証券会社へ確認依頼	【東証→証券】 東証から証券会社へ申込内容を連携し、内容確認を依頼
(3) 確認（準備）完了の連絡	【証券→東証】 証券会社は注文を受託する準備を行い、東証に完了連絡をする
(4) 全MMへの周知	【東証→全MM】 東証は、本番登録済みの全MMへ、新たに投資家機能を利用する組織の名称を周知する (*1)
(5) CONNEQTORへの登録	【東証】 東証がCONNEQTORへ登録する
(6) 登録完了の連絡	【東証→MM】 東証はMMに「TP-72_登録完了通知」を送信する

*1 登録済みの全MMにおける準備・対応期間として5営業日を確保するため、本番登録が完了するのはそれ以降になります。

参考：投資家機能における権限体系

- 投資家機能では3種類の権限を用意しており、取引は「取引担当者」のみ、リスク管理設定は「取引統括者」のみ行うことができます
- 「取引担当者」「取引統括者」の権限については、少なくとも1つずつお申込みください

	取引担当者	取引統括者	監査担当者
気配提示依頼	 操作可能	 操作/参照できません	 操作/参照できません
取引履歴	 参照/ダウンロード可能	 参照/ダウンロード可能	 参照/ダウンロード可能
設定画面	リスク管理 (1注文の最大金額)  参照可能	 設定可能	 参照可能
	気配提示画面での 金額ボタン設定  設定可能	 設定/参照できません	 設定/参照できません

※ 同一の方が、2種類のアカウント（例「取引担当者」と「取引統括者」）の申込みを行うことも可能です。ただしその場合、権限ごとに別々のユーザーとして、IDを発行させていただきます。